

(別添3)

## 【津野町】 校務DX計画

本町においては、高知県内で統一した校務支援システムの運用、GIGA スクール構想で整備された教員用端末及び Google アカウントを使用したクラウドサービスの活用、県で導入している安否確認システムによる緊急時の安否確認や家庭連絡の効率化を通じて校務DX を推進してきた。

一方で、学校間・教員間での取り組みの格差も発生しており、校務DX 化を行う上で課題となっている。

そこで、下記のとおり校務DX の一層の推進を図る。

### ○FAX・押印の原則廃止

一部の緊急連絡や教育ネットワークの不具合時等、FAX のほうが電子メール等より効率的な場合を除き、令和6年8月9日付け文部科学省事務連絡「学校とのFAX でのやり取りの慣行・学校現場に関連する押印ルールの見直しについて」に基づき FAX 及び押印の原則廃止に向け、見直しを行っていく。

### ○クラウド環境の活用

クラウドサービスの活用により、各種調査の回答や会議資料等におけるペーパーレス化を推進するとともに、手入力作業の削減による教員の負担軽減に努める。また、教育委員会とのやり取りの電子化を推進していく。

また、家庭とのやりとりについても積極的にクラウドサービスを活用し、効率化を図る。

### ○次世代の校務支援システムの導入

高知県内で統一した校務支援システムを導入していることから、今後も高知県内の自治体と足並みをそろえ、次世代の校務支援システムの検討及び導入を進める。